

Patient Support Center



金沢大学附属病院 患者サポートセンター通信 Kanazawa University Hospital Patient Support Center News

10/2025



No. 0015

10月20日月曜日

<https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/medical/renkei/index.html>
編集：金沢大学附属病院 患者サポートセンター
〒920-8641 金沢市宝町13番1号
TEL: 076-265-2039 Fax: 076-234-4307
Email: hprenkei@adm.kanazawa-u.ac.jp



rTMSによるうつ病治療・うつ病外来のご案内

金沢大学附属病院では、薬物療法で十分な改善が得られないうつ病（治療抵抗性うつ病）の患者さんを対象に、NeuroStar®による反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）療法を導入いたしました。保険診療でのNeuroStar®導入は北陸で2番目、北陸での大学病院としては初となります（2025年8月現在、当院調べ）。当院ではrTMS療法の実施にあわせて、治療に難渋するうつ病患者さん向けの「うつ病外来」を2025年8月より開設いたしました。

rTMS治療とは

rTMS療法は、磁気刺激により脳の特定部位を刺激する治療法です。従来の治療抵抗性うつ病に対する治療は電気けいれん療法が主流でしたが、これは実施のたびに全身麻酔をかけることや、実施時の副作用、患者さんへの負担が問題となっておりました。rTMSは麻酔は不要で、電気けいれん療法と比較して患者さんの負担や副作用が少ないのが特徴です。1回約40分弱の治療を週5回、4～6週間（計30回※）継続して行います。治療中は会話も可能で、リラックスして治療に取り組むことが可能です。

※効果が認められない場合は15回で終了することがあります

※当院では原則入院で実施します

対象となる患者さん

抗うつ薬を十分な量・期間使用しても効果が不十分、または副作用により薬物療法の継続が困難な患者さんが対象となります。希死念慮が切迫していたり、食事が取れないほどの重篤な抑うつ状態の患者さんには一般的に電気けいれん療法を行い、重篤ではない治療抵抗性患者さんにはrTMSを行うのが一般的です。

最終的な治療適応はうつ病外来などで診察を行い判断します。



▲当院のrTMS療法室（一部イメージを含みます）

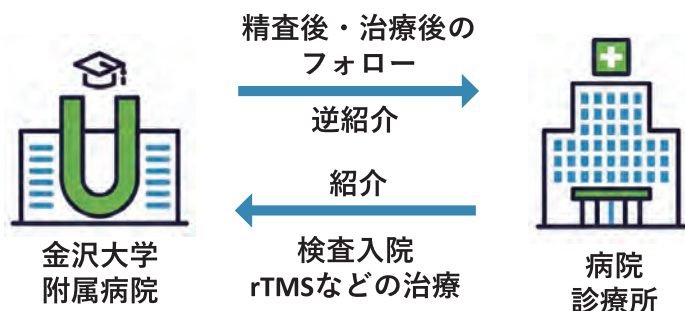
うつ病外来の開設

rTMS療法の実施に合わせて、当院神経科精神科では、治療に難渋するうつ病患者さんや発達障害など、他の精神疾患との鑑別が困難な患者さんなどの精査や支援を行ううつ病外来を2025年8月より開設いたしました。

うつ病外来では、

1. うつ病の診断の鑑別や患者さんごとの状況にあった治療方針立案のため、外来での精査、必要に応じて検査入院を進めます。
2. 治療抵抗性うつ病を中心とした治療実施の検討を行い、外来加療や必要に応じてrTMSや電気けいれん療法などの治療法を実施します。

患者さんが安定するまでの間、当院でフォローをさせていただきます、シームレスな連携を目指します（右図）。



rTMS療法、うつ病外来についての詳細は金沢大学附属病院 神経科精神科のWebページに記載しております。ご紹介いただく際の注意点などはこちらをご覧くださいと幸いです。

（お知らせ）セカンドオピニオン外来の予約も原則医療機関からの予約となります。詳しくは病院ホームページをご確認ください。

金沢大学附属病院 予約申込書をご活用ください！

いつも患者さまのご紹介ありがとうございます。

この予約申込書は、患者さんが予約をよりスムーズに行っていただくための申込書になります。

医療機関からご予約ができない際にご活用いただければ幸いです。

患者サポートセンター初診予約担当：☎ 076-265-2933 受付時間 平日午前9時～午後4時30分

